

モンゴル経済トピック（2009年8月）

今月の主なトピック

- オヨートルゴイ銅・金鉱床開発投資契約に関わる交渉、最終局面を迎える（経済）
- メドヴェージェフ・ロシア大統領がモンゴルを訪問（経済協力）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- 10日、バヤル首相はモンゴルを訪問中のアメリカ議会議員団と会談を行った。会談では議員団代表から、モンゴルの民主化に敬意が表明されるとともに、今後は貿易、経済、鉱業、観光などを中心に、様々な分野での協力を期待したい旨の発言があった。（ZM11）
- デムベレル国家大会議長は、国際通貨基金（IMF）のステューブン・バーネット氏らと会談を行った。バーネット氏は、モンゴル政府が経済関連のプロジェクト及び政策をIMFとの合意に沿って効果的に実施していることに謝意を表明したほか、来年度予算の赤字額をGDPの4%以内に留める必要があると述べた。またIMFはモンゴルの銀行制度改革に対する支援の可能性にも言及し、同支援に関しては次回の会談以降に話し合うことが決定された。（ZM11）
- 2009年7月の消費者物価指数は、前月比1.3%の下落、前年同期比4.9%の上昇であった。また、全国21県及びウランバートル市の労働・福祉サービス課に登録されている失業者数は7月の時点で4万700人であり、前年同期比29.4%の増加となった。（ZM11）
- 12日、バヤルツォグト大蔵大臣らが、オヨートルゴイ銅・金鉱床開発投資契約の締結に向けた投資家側との交渉結果に関する記者会見を行った。同会見によると、投資家側との交渉の結果、(1)モンゴル政府は、同鉱床の権利の34%を保有することとなった(2)契約の全条項が現行法に則っており、投資家に対して税制面の優遇措置を取ることはない(3)開発計画の初期投資額を50億米ドルから40億米ドルに減額し、前払い金は1億2,500万米ドル（平均年利7%）から2億5,000万米ドル（年利5%）に増額することで合意した。これに伴い25日、特定品目利潤超過税法、企業税法など、鉱床開発に関わる4つの法律の改正案が臨時国家大会議で審議され、同日中に可決された。これにより、2011年1月1日より特定品目利潤超過税（金及び銅の価格が一定限度額を超えた際に68%の課税がされるもの）が廃止されることとなった。（UN13、AE26）

- 付加価値税法が改正され、製品の輸出を行う鉱山会社に対する付加価値税の免除措置が8月16日から廃止された。(AE17)
- 2009年6月までにモンゴルに入学した外国人の数は前年同期比18.4%減の15万8,300人であった。その内、観光ビザで入学した外国人の数は前年同期比35.2%減であった。(NT25)
- モンゴル政府は今年度予算に、中小企業支援を目的とした中小企業向け融資資金を計300億トグログ計上した。同資金は、全国21の県に対して各7億8,000万トグログ、ウランバートル市に対して91億トグログが配分されており、各県庁及びウランバートル市役所で申請を受け付けている。融資対象者は、地域に根ざした新工場の建設を希望する者となる。融資条件は、月利1%、償還期間3年、上限額5千万トグログである。(UN31)

2. 経済協力

- 10日、ベトナムのハノイ市で対モンゴル無償援助の一環としてモンゴルに供与される米1千トンの輸送記念式典が行われた。これは、2008年10月にベトナムの国家主席がモンゴルを訪問した際に援助を表明したものであり、この他にも30万米ドル相当の救急車などが供与されることが決まっている。(UN13)
- 21日、ハンガリー政府の対モンゴル資金援助プロジェクトの一環として2,500万米ドルの無利子借款協定の署名式が行われた。この資金で国営バイオ・コンビナート社の新工場を建築するとともに、新規のワクチン製造ラインを設置する予定である。建設工事は2010-2013年に行われる。(MM14、AE24)
- 14日、国立データセンターの開所式が執り行われた。同センターは韓国政府が520万米ドル、モンゴル政府が80万米ドルをそれぞれ拠出して建設されたものであり、政府、政府系機関及び実施・調整エージェンシーの情報を一元的に管理する役割を担う。(UN15)
- ロシアのメドヴェージェフ大統領のモンゴル訪問の際に、関係当局間で以下の5つの文書に署名が行われた。
 - ・ モンゴル鉄道管理庁とロシア鉄道運輸局間の鉄道分野協力覚書
 - ・ ウランバートル鉄道社とトランスマシホールディング間の相互協力覚書
 - ・ 両国の選挙管理当局間の協力及び法的情報交換に関する議定書
 - ・ 両国政府間のドルノド・ウラン有限会社共同設立に関する協定
 - ・ モンゴル・ロシア間戦略的パートナーシップの発展に関する宣言
 (TR26)

3. 金融

(特記事項なし。)

4. 貿易等

- 8月15日時点でのモンゴルの2009年の貿易収支は、1億7,920万米ドルの赤字である。(AE20)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

(特記事項なし。)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

(特記事項なし。)

9. 保健医療

(特記事項なし。)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードゥル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙、NT ニーゲミーン・トリ紙)

(了)